

ソーラブ・アリ博士 / 石川県立大学
MD. Sohrab Ali, PhD / Ishikawa Prefectural University

<外国人研究者プロフィール / Profile>

国籍: Nationality:	バングラデシュ Bangladesh
日本留学時の滞在期間: Period of Stay During in Japan:	2001年4月1日 ~ 2005年3月31日 April 1, 2001 ~ March 31, 2005
日本留学時の大学: Education Background in Japan:	京都大学 Kyoto University
専攻分野: Major Field:	森林生物学 Forest Biology
現在の所属/職位: Present Institution/Status:	環境森林省 環境部副部長 Ministry of Environment and Frest/Deputy Director (Technical)



ソーラブ・アリ博士
MD. Sohrab Ali, PhD

<研究報告 / Follow-up Research Fellowship>

受入研究者氏名: Research Adviser:	菊沢 喜八郎 教授 Professor Kihachiro Kikuzawa
受入れ期間: Researching Period:	2010年5月21日 ~ 2010年8月18日 May 21, 2010 ~ August 18, 2010
研究課題: Theme of Research:	アオキとヒメアオキにおける不等葉性とその 適応的意義 Adaptive significance of plant form in Aucuba species

■研究概要 / Outline of Research

アオキにおいて見出された不等葉性がヒメアオキにおいても見出されるかどうかを研究した。日本海側要素であるヒメアオキにおいてもアオキと同様に、対生葉序の2対めと4対めの葉において一方が著しく小さいという不等葉性が見られた。これらの成因と適応お手期な意義について考察した。

■研究成果 / Result of Research

不等葉性は古くから知られた現象であるが、その成因についてはよく解っていない。アオキについては当該外国人研究者が頂芽内の発達過程において花芽の発達にともなって、空間的制約を受け一方の葉の発達が阻害されることを明らかにした。今回はヒメアオキについてもその現象が認められること、細胞レベルで発達に違いのあること等を明らかにした。



現場で調査中
Working at Tsurugi Station



学生たちに対する説明
Delevering lecture before students